

平成 30 年 7 月 31 日
農林中央金庫福島支店

株式会社若宮ばくさくへの出融資について

会津よつば農業協同組合（以下「JA会津よつば」）・農林中央金庫福島支店（以下「農林中金」）は、地域の農業振興を目的に、地域の中核的農業担い手である株式会社若宮ばくさく（以下「当社」）に対し、金融機能とコンサルティング機能を通じて、その取組みを支援しました。

○地域の遊休農地解消、雇用創出を目指す農業法人の取組み

当社は、福島県会津坂下町にて水稻・麦・ソバ・アスパラガスを生産する農業法人です。昭和 61 年に麦生産組合として創業し、高齢化による離農が増える中、農地を守りたいとの思いから平成 19 年に法人化をしました。

経営面積拡大のためには従業員の確保が必要であり、当社では通年雇用を果たすための冬期間の収入源として、アスパラガスの生産やソバの加工に取り組んでおります。特に、ソバ焼酎への加工・販売が高く評価され、平成 27 年には全国そば優良生産表彰で全国蕎麦製粉協同組合理事長賞を受賞しました。

今後は水稻面積を 52ha から 100ha まで拡大することを目指しており、平成 30 年度には農地の受入体制を整備するために必要なミニライスセンターの建設を予定しております。

○JA・農林中金・全国農業協同組合連合会福島県本部（以下、「全農」）が連携して中核的農業法人を支援

これらの取組みは、地域の農業振興と活性化に繋がるものと判断し、JA会津よつばでは、既存施設の改修工事費用を融資し、また、農地の受入体制を整備するために必要なミニライスセンターの建設費用についても支援する予定です。さらに農林中金では、規模拡大に伴う財務基盤の安定化に向けて、アグリビジネス投資育成株式会社と連携し出資を行いました。また、全農は当社営農計画の策定においてコンサルティング機能を発揮し、規模拡大を見据えた作業効率化・新品目の導入を提案しました。JA会津よつば・農林中金・全農がそれぞれの強みを活かし、JAグループが一体となって当社の構想実現をサポートしました。

JA会津よつば・農林中金・全農は、引き続き経営支援や出融資を通じた農業の成長産業化に向けた取組みを実践してまいります。

以 上

※当ファンドは、東日本大震災で被災された農林水産業者のみなさま向けに、長期にわたり安定した支援を行うため、農林中央金庫が平成 23 年に創設したものです。

(参考資料)

1 株式会社若宮ばくさくの概要 (平成30年6月末現在)

事業者	株式会社若宮ばくさく		
代表者	内海 淳一		
所在地	福島県河沼郡会津坂下町大字牛川寿ノ宮 1905		
設立年月日	平成19年2月2日		
資本金	500万円		
従業員数	6名 (役員含む)		
事業内容	稲作・ソバ・麦・アスパラ		
事業規模	水稻	52ha	麦 5ha
	アスパラガス	60a	ソバ 15ha



○稲刈りをする代表内海さん



○トラクターによる除草作業



○アスパラガス

【本件に関するお問い合わせ先】

農林中央金庫 福島支店 (白石)

TEL : 024-552-5693